

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 870

所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当者名	小林 早苗
事業名	特定高齢者把握事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	特定高齢者把握事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 1.介護 - 1.介護		

1. 事業の概要

65歳以上の高齢者に「基本チェックリスト」を送付。特定高齢者候補者を選定し市民健診で生活機能評価を実施。結果を総合して特定高齢者を決定する。特定高齢者に対して介護予防のサービス事業案内を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

高齢者が自立して生きがいのある生活を続けていく為に、要介護状態の危険性のある高齢者を早期に発見し、各サービスにつないで要介護状態の予防を図る。

②事業を実施する必要性

本市においては、高齢化が進んでおり、本事業を実施することで、健康寿命の延伸を図り、生きがいのある元気で自立した老後を過ごしていただくために必要である。結果として介護保険料の負担軽減への効果も期待される。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円			10,403	3,166	5,760	5,789	5,789
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	305	460	460	460
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	950	1,728	1,737	1,737
	国・府支出金	千円			0	1,187	2,160	2,170	2,170
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			10,403	1,029	1,872	1,882	1,882
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.33	0.45			
人件費		千円	—	—	1,890	3,202			
事業費総額		千円	—	—	12,293	6,063			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

市民健診で特定高齢者該当者選定のための生活機能評価健診を実施 3,166,081円（賃金・委託料）

5. 事業結果の概要

基本チェックリストの郵送で事前に候補者を選定できたので、生活機能評価対象者を絞り込んで実施できた。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 生活機能評価		
65歳以上の市民に、介護予防のための基本チェックリストを郵送。回答された基本チェックリストで特定高齢者候補者を選定。市民健診で生活機能評価を実施し、医師により特定高齢者の決定と介護予防サービス利用の判断がされる。	①集団健診 5月～6月 (32日間) ②個別健診 5月～7月	○受診者数 383人(集団 297人, 個別 86人) ○特定高齢者該当者数 375人(集団 293 人, 個別 82人)

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

基本チェックリストの郵送で事前に候補者を選定するなど20年度より効率的に実施できた。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
如何に数多くの市民に受診していただきスムーズな健診の流れを作ることができるか委託業者と打ち合わせを重ねた。
- ②当該事業のアピール事項
法に基づき実施する事業のため、本市独自という特徴的な取り組みはない。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
健診の効率性を高めるため、また、コスト削減の観点から予め問診により対象者を絞り込んで事業を実施した。(昨年度は、65歳以上全員に追加項目の検査を行っていた。)